

## 問 地域自治を積極的に進めているか

答 条例理念を遵守し信頼を得ていく



むらかみ たかし 議員  
村上 孝

**問** ある地区の自治会長から、村は指示するだけで地区の意見を聞いても実行せず言っても無駄だと半ばあきらめのような声を聞く。このような状況で自治基本条例の遵守についてどう考えるか。

**答** 自治基本条例は、本村の最高規範である。地域づくりを進めていくことは大切だと認識しており、今後とも条例の理念を誠実に遵守していく。

**問** まちづくりは、まさに人づくりである。人と人との信頼や絆が重要で強い信念を持つ



2級河川の延伸を望む新川

**答** 今後より一層、地域に向いて地域の活性化に取り組む。

**問** 新川を県管理とする進捗状況は

**答** 引き続き関係機関と協議していく

**問** 新川を県管理の2級河川とし、村の歳費を少なくするため、県との協議を村長自ら働きかけるべきである。

**答** 毎年、県央地域首长懇話会にて要望を行っている。引き続き、2級河川の延伸については積極的に働きかけしていく。

## 問 コロナ禍の総合管理計画改定とは

答 将来を見据えた改定作業を進める



にいかわ しんいち 議員  
新政とうかい  
たけべ 武部 慎一

**問** コロナ禍における感染症対策と産業への影響によって村財政は減少傾向にあり、インフラ施設等の必要性については十分な議論を進め、施設の優先順位を構築していく必要がある。数十年後に数十億の予算不足という赤字ありきの計画ではなく、戦略性あるケースタディを構築し、全てを行政で負担できない将来を見据えて、今、何が必要で今後何をすべきか、事業の聖域なしで十分に検討すべき。インフラ施設の統廃合等に向けた村の

**答** 考えを伺う。

**答** 総合管理計画の改定にあたっては、公共施設等の総量を把握し、維持管理及び更新に係る経費についての再計算を行い、必要とされる総経費を算出した上で、今後の財政負担を再検証する。公共施設等の在り方を考え、統廃合や集約化等、適正配置を検討していく。現在ある公共施設等を単に延命化し、財政負担を先延ばしにするだけの計画とならないよう、村の将来像をしっかりと見据えた改定作業を進める。

